

樹高が低く、耐暑性に優れた食味良好な パパイヤ新品種「石垣珊瑚」

登録番号: 第16161号

JIRCAS 熱帯・島嶼研究拠点が育成したパパイヤの新品種「石垣珊瑚」は、「ワンダーブライト」の自然交雑実生から選抜した単為結果性のある雌性系統です。耐暑性を備え、樹高が低く、実をたくさんつける特性を持ち、果実は強い芳香があり、高糖度で食味が優れています。

果実は、平均840gで、果皮は鮮橙色、果肉は明赤橙色です(図1)。糖度は平均13.8%と「ワンダーフレア」より高く、強い芳香があり、食味が良好です。節間長は平均12mmと「サンライズ」に比べて短く、樹高の低い「ワンダーフレア」と同程度の樹高を示し、着花開始節は平均15節です(図2)。

雌性系統ですので、栄養繁殖を行う必要がありますが、接ぎ木や挿し木繁殖が困難です。ウイルス被害の回避のためにも、ウイルス無毒株の組織培養による増殖を推奨します。



図1. 「石垣珊瑚」の果実 A: 側面、B: 果梗部、C: 果頂部、D: 縦断面、E: 横断面



図2. 「石垣珊瑚」の樹姿(左)と開花結実状況(右)



図3. 「石垣珊瑚」の栽培地

「石垣珊瑚」の栽培状況

パパイヤの新品種「石垣珊瑚」が栽培されている地域は、沖縄県、鹿児島県の南西諸島が主である。九州や本州でも1割の栽培がある(図3, 表1)。

表1. 「石垣珊瑚」の栽培状況 (出荷本数より算出 2014年8月現在)

地域	栽培面積(a)	生産見込量(t)
九州本州	88	60
喜界町	30	32
奄美市	58	60
読谷村	8	5
豊見城市	40	35
糸満市	80	58
他沖縄本島	282	188
石垣市	50	96
TOTAL	636	534

「石垣珊瑚」の苗入手先

JIRCASが利用許諾契約を結んでいるフタバ種苗(沖縄県南城市大里字高平871 TEL:098-946-6385)及び石垣市熱帯果樹センター(沖縄県石垣市宇登野城783-2 TEL/FAX[0980-88-8818])で入手可能。

独立行政法人 国際農林水産業研究センター 熱帯・島嶼研究拠点

〒907-0002 石垣市真栄里川良原1091-1 <http://www.jircas.affrc.go.jp/index.sjis.html>

Japan International Research Center for Agricultural Sciences

1091-1 Maezato-Kawarabaru, Ishigaki, Okinawa, 907-0002

